

呉地区支部だより

柿渋を使ったランプシェード展を開催して

女性委員会 家頭 昌子



シックハウス症候群という言葉が広まり、ホルムアルデヒドなどの化学物質の危険性が話題となってどれくらい経つでしょう。

そんな建築材料の安全性について女性委員会でいろいろと検討した結果、日本の伝統的な塗料である柿渋に着目し、平成14年度から3年間、柿渋を作ってきました。経時変化の中で、材質によって発色に差が出る事、出来上がった柿渋によっても全然色が違う事、保存の方法や保管場所の問題等、奥の深さに考えあぐねる事もありました。そんな折、柿渋がホルムアルデヒドを吸着する効果があるという事を聞き、柿渋を生活の中に取り入れる

事が出来ないだろうか、何かの形で普段の生活に生かすことが出来れば当初の目的にも適うのでは、という話になりました。こうして柿渋を使ったランプシェードを試作する事になり、みんなで試行錯誤の後に多数のランプシェードが出来上がりました。

そこで、せっかくの作品を広く一般の方に見ていただくとともに、建築士会を知っていただける良いきっかけになるのではないかと、展示会を計画したものです。「はなの会」にご協力をいただき、「暮らしに“はな”をもとめて」と題して、呉そごうイベントプラザで2月5日から11日まで開催しました。展示会は盛況で、いろいろな方から感想を頂いたり、ランプシェードの講習会を依頼されたりと、新たな展開を模索する良いきっかけとなりました。



景観法の勉強会について

女性委員会 藤原 千恵

2005年6月1日に全面施行された景観法。呉市でも今年の3月1日から景観法に基づく景観計画が施行されることになり、新築の建築物などに対して届出が必要になります。そこで、呉市の都市計画課のご協力で、景観法の勉強会を3回にわたって行いました。

第1回(6月27日)

景観法とは何か。法律が出来た背景など

第2回(7月25日)

具体的な事例等

第3回(1月16日)

呉市の都市計画課による出前トーク。これまでの復習と、呉市の景観計画の説明及び申請方法などの説明



講演会「建物LC(ライフサイクル)の視覚表現とそのコスト・環境負荷の比較」について

呉地区支部編集委員 磯畑 晃



2月1日(金)18時から、広島国際大学呉キャンパスにおいて、CPD認定講座として講演会を開催しました。2008年からは、京都議定書(地球温暖化防止枠組協約)の第1約束期間に入ります。

全産業の温暖化ガスの1/3を排出すると言われる我々建築業界にとっても、地球環境の問題は大いなる関心事です。

今回の講演では、広島国際大学住環境デザイン学科教授の広松猛先生が、大規模ソフト開発のために開発されたCASEという手法を「建物LCシステム」に適用・表現した結果として、スライドによる解説や、事務所建築(鉄骨造、地上11階、地下2階、延べ約2万㎡)の事例を中心に、LCにおける工事種別ごとのコストと環境負荷の累積特性を比較しながら、設備設計・材料選定の重要性について説明されました。



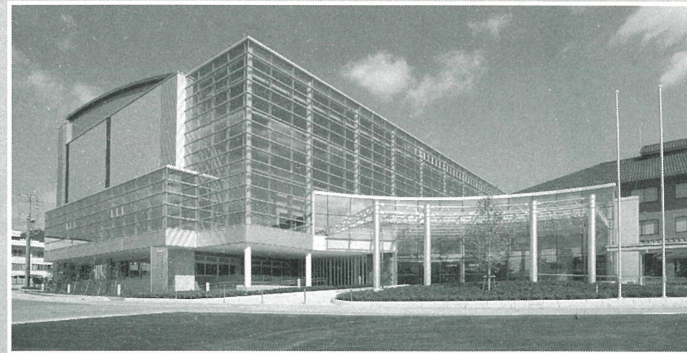
最後の出前トークには、ゼネコンや設計事務所の方の参加もあり、申請の書式に対する確認など、具体的な意見交換ができたと思います。一般の市民の方も参加できるような勉強会にできれば、もっと良かったかも知れません。

MONTHLY 建築士

IROSHIMA



表紙写真について



総合文化保健福祉施設
「安芸高田市役所・クリスタルアージュ」

- 設計／(株)NSP設計
- 施工／前田建設工業・砂原組・山陽工業JV
- 所在地／広島県安芸高田市吉田町
- 構造／鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- 規模／地下1階、地上4階建
- 延面積／15,339.01㎡

本建物は住民一人ひとりが生き生きと輝き、安心して暮らせるまちづくりの拠点として建設されました。市内に分散している庁舎機能を集約するため、既設第1庁舎に第2庁舎を増設し、利便性の向上を図っています。ま

たクリスタルアージュという愛称で、文化・保健・福祉機能を集積した総合施設として、市民の方が気軽に立ち寄り集う施設としました。

この建物の特徴である4層吹き抜けのアトリウム（回廊）は多様な機能を集積した施設の中心に位置し、それぞれの施設を接続するとともに見通しを良くして、初めて訪れた方でも方向を見失わず、自然に行きたい場所へ導くようにしています。そして各所に人を招き入れるようなゲートを設け、気分を新たにしている効果を目指しています。またこの地で盛んな伝統芸能における精神が一点に集中するような研ぎ澄まされた感覚、そして昔の時代から引き継がれた一致団結の心意気を内部の色彩や光で表現しています。



行政ニュース 4月1日から建築基準法に係る確認・検査・許可等の審査が広島県から三原市・尾道市・廿日市市に移ります。

平成20年4月1日から、三原市・尾道市・廿日市市は限定特定行政庁から特定行政庁へ移行します。

従来、広島県にて審査の行われていた建築基準法第6条第1項第1号・2号・3号建築物及び一定の高さを超える工作物や建築設備の確認・検査・許可等は、平成20年4月1日から次の市で行うこととなります。（手数料の納付が広島県証紙から現金に変更となりますのでご注意ください。）

また、バリアフリー法に基づく認定、省エネ法に基づく届出及び建設リサイクル法に基づく届出等についても、各市にて扱います。

<問い合わせ窓口>

三原市都市部建築課

〒723-0015 三原市円一町二丁目3番4号
直通 ☎(0848)67-6122

尾道市都市部建築課

〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号
直通 ☎(0848)25-7245

廿日市市都市部建築指導室

〒738-8501 廿日市市下平良一丁目11番1号
直通 ☎(0829)30-9191

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真（プリント、ポジ、データ）2～3点を設計概要、設計趣旨（400字程度）と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。



社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/

<資格取得情報>

構造設計一級建築士 設備設計一級建築士の資格取得のための講習について

平成20年2月

財団法人 建築技術教育普及センター

平成18年12月20日に公布された新建築士法では、構造／設備設計一級建築士制度が創設され、一定規模以上の建築物の構造／設備設計については、構造／設備設計一級建築士が自ら設計を行うか若しくは構造／設備設計一級建築士に構造／設備関係規定への適合性の確認を受けることが義務付けられることとなりました。

構造／設備設計一級建築士の資格を取得するには、原則として、一級建築士として5年以上構造／設備設計の業務に従事した後、国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う講習の課程を修了することとされており、新建築士法の施行前においてもその実施が認められている（いわゆる「みなし講習」）ところです。（改正法の施行は平成20年11月末の予定）

本案内は、構造／設備設計一級建築士の資格取得を目指されている方々に対し、国土交通省に設置されている社会資本整備審議会建築分科会基本制度部会において、平成19年12月に取りまとめられた内容に従って、現時点で当センターが計画している講習の実施方法等をあらかじめご案内することを目的としていますが、本講習が構造／設備設計一級建築士の資格取得のための講習として国から認定されるためには、今後制定される講習内容等について定められた法令の基準に合致する必要があることから、ご案内の講習実施方法等を変更する場合があります。

講習の詳細につきましては、法令等により講習内容等が明らかとなった時点であらためてご案内することといたします。

※注：以下は全て上記の法施行前に実施するいわゆる「みなし講習」に関する内容です。

1. 講習の構成

構造：2日間の講義と1日の修了考査で実施する予定です。

設備：3日間の講義と1日の修了考査で実施する予定です。

2. 受講申込書の頒布

- (1)頒布期間 平成20年4月上旬から
- (2)頒布場所 当センター各支部他

3. 受講申込み

- (1)受講申込方法 講習開催地を管轄する当センター各支部への郵送（配達記録）受付。
- (2)申込書受付期間 平成20年4月中旬から

4. 受講資格

構造：一級建築士として、構造設計に関する5年以上の実務経験を有する者。

設備：一級建築士として、設備設計に関する5年以上の実務経験を有する者。

※構造、設備とも講習の免除措置等については、当センターにおいて別途定めます。

5. 受講手数料

未定

6. 講習の実施

(1)講習は、「講習日及び講習地一覧表」に基づき、全国7地域で実施する予定です。

(2)講義は、表の●で示された日程のうち、いずれかの講習日・講習地で受講することとします。

(3)各日程での講義の受付は、申込受付順とし、定員になり次第受付を終了します。

各日程で受講希望者が集中した場合は、希望する講習地・講習日で受講できない場合があります。

(4)受講票については、講習日及び講習地を確定後、平成20年5月下旬以降に当センターから申込者本人あてに送付する予定です。

※受講希望地の調整方法等詳細については、受講申込書頒布時に案内します。

(5)講義時間（休憩・昼食時間を除く）

構造：1日目－7時間、2日目－5時間

設備：1日目－7時間、2日目－7時間、3日目－7時間

(6)修了考査時間（休憩・昼食時間を除く）

構造：6時間

設備：6時間

※修了考査の講習地は、講義を受けた講習地（周辺地域を含む）と同じとします。

■講習日及び講習地一覧表（いわゆる「みなし講習」）
・構造

講習日 講習地	講 義											考 査	管 轄 支 部
	6/6 (金)	6/9 (月)	6/10 (火)	6/12 (木)	6/16 (月)	6/17 (火)	6/19 (木)	6/23 (月)	6/26 (木)	6/30 (月)	7/1 (火)		
	6/7 (土)	6/10 (火)	6/11 (水)	6/13 (金)	6/17 (火)	6/18 (水)	6/20 (金)	6/24 (火)	6/27 (金)	7/1 (火)	7/2 (水)		
札幌市					● 500							○	北海道
仙台市			● 500									○	東北
東京都・横浜市		● 1000		● 2000		● 2000						○	関東
名古屋市								● 750			● 750	○	東海北陸
大阪市	● 600	● 800			● 600							○	近畿
広島市									● 500			○	中国四国
福岡市							● 500			● 500		○	九州

※下段の数字は定員数を示します。（関東支部管轄の講義は、6/9（月）～6/10（火）が東京都、それ以外は横浜市で実施します。）

・設備

講習日			講 義								考 査		管轄支部
			6/9 (月) ∩ 6/11 (水)	6/11 (水) ∩ 6/13 (金)	6/16 (月) ∩ 6/18 (水)	6/17 (火) ∩ 6/19 (木)	6/18 (水) ∩ 6/20 (金)	6/22 (日) ∩ 6/24 (火)	6/25 (水) ∩ 6/27 (金)	6/29 (日) ∩ 7/1 (火)	6/30 (月) ∩ 7/2 (水)	7/13 (日)	
講習地				● 150							○	北海道	
札幌市						● 250					○	東北	
仙台市											○	関東	
東京都							● 1000		● 1000		○	東海北陸	
名古屋市								● 220			○	近畿	
大阪市							● 600			● 800	○	中国四国	
広島市			● 200								○	九州	
福岡市					● 300						○		

※下段の数字は定員数を示します。

7. 講習修了者の発表

平成 20 年 9 月中旬ごろ

8. 受付問合せ先

財団法人建築技術教育普及センター

本部・支部名	〒	所 在 地	電 話
本 部	104-0031	東京都中央区京橋 2 - 1 4 - 1	03(5524) 3105
北海道支部	060-0042	札幌市中央区大通西 5 - 1 1 大五ビル	011(221) 3150
東北支部	980-0824	仙台市青葉区支倉町 2 - 4 8 宮城県建設産業会館	022(223) 3245
関東支部	104-0031	東京都中央区京橋 2 - 1 4 - 1	03(5524) 2176
東海北陸支部	460-0008	名古屋市中区栄 4 - 3 - 2 6 昭和ビル	052(261) 6816
近畿支部	540-6591	大阪市中央区大手前 1 - 7 - 3 1 OMMビル	06(6942) 2214
中国四国支部	730-0051	広島市中区大手町 2 - 1 1 - 1 5 新大手町ビル	082(245) 8055
九州支部	812-0013	福岡市博多区博多駅東 2 - 9 - 1 東福第 2 ビル	092(471) 6310

インターネットホームページで、制度案内、受講に関する情報を提供しています。http://www.jaeic.jp/

各支部ボウリング大会

広島支部

広島支部スポーツ委員会

1 月 23 日、ヒロデンボウルにおいて、22 名の参加を得て広島支部ボウリング大会を開催しました。この大会は、2 月に行われる支部対抗の予選会を兼ねており、参加者は「連覇して代表に」「優勝して代表に」「今年は代表に」とそれぞれ目標を立てての参加でした。

1 ゲーム目はレーンコンディションをつかめず、皆さん苦勞されていましたが、2 ゲーム、3 ゲーム目には 200 アップが続出。和やかな雰囲気の中にも、代表を賭けたし烈な争いが繰り広げられました。その結果、上位 2 名は常連でしたが、残り 3 名は昨年とは違う顔ぶれとなりました。このボウリング大会は、予選会を兼ねておりますが、第 1 の目的は会員相互の親睦です。中間賞も設けておりますので、より多くの方々に参加して頂けることを期待しております。



福山支部

福山支部交流厚生委員会スポーツ担当



今年度のボウリング大会は、福山支部の担当です。大会会場の《キャッスルボウル福山》で、予選を兼ねた福山支部のボウリング大会を開催しました。今回からマイボールの使用が制限されることになり、マイボール使用者はマイナス 30 ピンのハンディが付くことになりましたが、予想通り（？）田辺さんが、マイナスハンディも関係なく優勝。田辺さんをはじめ 6 位までが選手として出場します。県大会でも頑張って優勝を勝ち取って下さい。

成 績

優 勝 田辺 雅亨
第 2 位 岡田 秀仁
第 3 位 大角 成美

三原支部

交流厚生副委員長 岡田 誠二

1 月 26 日（土）東広島市加茂ボウルにて、三原支部・賛助会員の親睦を図る目的と、2 月 23 日（土）に開催される支部対抗ボウリング大会の予選を兼ねて、13 名の参加で開催されました。有木交流厚生委員長の挨拶の後、2 ゲームトータルスコアを争い、勝負の中にも和気あいあいとゲームが進められました。結果は唯一マイボール・マイシューズ持参の賛助会員、大池一也様がやはりダントツのスコアーで優勝されました。また、ゲーム後の表彰式及び懇親会も終始和やかな雰囲気の中、支部対抗に向けての秘策も練られ、当初の目的である親睦も十分図られ有意義な大会を行うことができました。参加いただいた皆様、ありがとうございました。

成 績

優勝 397 点 大池 一也
2 位 306 点 村上 浩一
3 位 299 点 平川 英二

2008 Information Calendar 3月・4月の行事予定

3 March

- 土・建築技術者のための木造住宅耐震セミナー(呉地区支部)
- 木・「福山市生涯学習プラザ」見学会(福山支部)
- 土・香川県直島町見学会(広島支部)
- 日・建築なんでも探建隊(福山支部女性部会)
- 火・青年部定例会(呉地区支部)
- 木・青年部定例会(尾道支部)
- 水・女性委員会例会(呉地区支部)
- 木・支部ゴルフ大会(福山支部)
- 金・改正建築基準法に関する説明懇談会(尾道支部)

4 April

- 月・二級・木造建築士受験申込書配布(～18日まで)
- 月・二級・木造建築士受験申込受付(～18日まで)